



# 神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより  
令和4年9月8日 No13

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】

- 郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、たくましく生きる児童・生徒の育成
- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子
- ・ふるさと大好き神内っ子



## 神内小のきらりさん☆

玄関に、移動式の小さい掲示板が置かれました。先生たちが、子どもたちの素晴らしいところを褒めて伸ばしていこうと、『神内小のきらりさん☆』の掲示を始めました。第1号は、子どもたちの授業の取組の素晴らしいところを掲載していました。手をまっすぐ挙げている、背筋をぴんと伸ばしている、机の上がすっきり片付いているなど、頑張っている様子が伝わってきます。何がきらり☆なのか分かり、これを見て、「よし、自分も頑張ってみよう!」という気持ちになることを私たちは願っています。



神内小のきらりさん☆



1年生作品

## 夏休みの頑張り

それぞれの学年の夏休みの作品が、教室や廊下に掲示・展示されています。9月2日の授業参観の際に、見ていただくことができたのではないかと思います。一人一人よく工夫していて、根気強く取り組んだ様子が伝わってきます。学名まできちんと調べている貝の標本や、いろいろな野菜や果物でジュースを作ってまとめたレポート等々、唸るような作品がたくさんあります。お家の方のサポートもありがとうございました。子どもたちの貴重な体験になっていると思います。



6年生作品

## まず自分を必要とされる人間とせよ～児童朝会より～

これは、思想家エマーソンの言葉です。自分が何かの集団に属するときに大切なこととして、「まず自分を必要とされる人間にすること」を挙げています。「必要な人間」とは…と考えると、声掛けをしてみんなを引っ張っていく人…こういう人も必要です。しかし、困ったときに助けてくれる人、係の仕事をちゃんとする人、授業で発表を頑張る人…こう考えていくと、温かい気持ちで傍にいてくれる人…こういう人も必要です。すなわち、「誰かのために役に立とうとしている人」ということになります。子どもたちは、係や当番活動、清掃活動など、いろいろな役割を担っています。これらの役割をしっかり果たそうとする(=人の役に立つ)ことが大切で、自分から集団のために意識して行動することで、「必要とされる人間」になります。自分の存在価値は、自分の良さ(自己肯定感)、必要とされる喜び(=自己有用感)につながります。大いに伸ばしていきたいと思います。



5年生作品



1年生作品

掃除の時間に保健室にいと、6年生の女子と3年生の男子が来て、黙って黙々と掃除をしていました。キレイにしようという気持ちが伝わってきました。今年度から、掃除を縦割り班(パラダイス班)で行っています。6年生が中心になって掃除の反省を毎日行い、よかったこと、次の日頑張ることを確認しています。上級生が手本を示すことで、下級生が付いてきます。神内小学校の子どもたちは、ステキがいっぱいです。



掃除の反省

\*\*\*\*\*ステキ・ステキ\*\*\*\*\*



昼休憩の時間にふと運動場を見ると、いつもはプールの近くで一輪車に乗っている子どもたちが、珍しく運動場の南側の長い距離を移動していました。まだ少しふらふらする1年生の手をつないで乗っている姿がステキでした。

\*\*\*\*\*